

2024年4月24日  
九電みらいエナジー株式会社  
株式会社レノバ

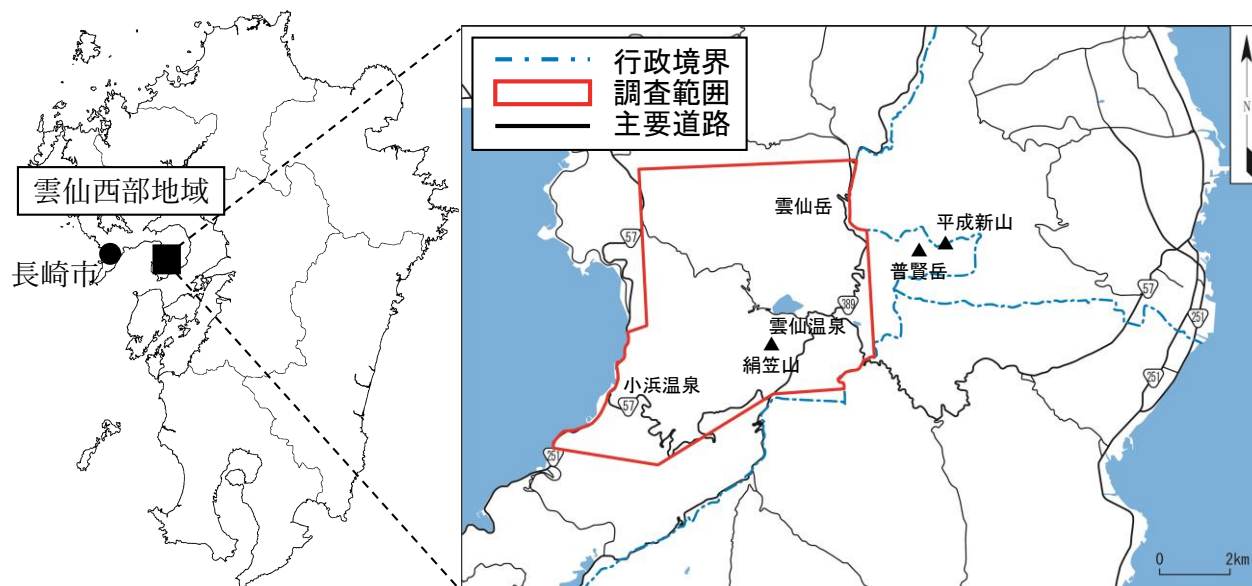
## 雲仙西部地域（長崎県雲仙市）において地熱資源調査を開始しました

九電みらいエナジー株式会社（代表取締役社長執行役員：水町豊）と株式会社レノバ（代表取締役社長 CEO：木南陽介）は、国産エネルギーであり、地球温暖化対策面で優れた電源である地熱発電の開発、導入に向け、長崎県雲仙市の普賢岳西側（雲仙西部地域）において地熱資源調査を開始しましたので、お知らせします。

両社は、2023年5月10日に長崎県雲仙市より地熱資源調査に対する同意書の交付を受け、調査に必要な各種手続き等を行ってまいりました。今回、調査の準備が整いましたので、4月16日に地下構造を把握するための地表調査、4月23日に周辺温泉等のモニタリング調査を開始しました。

両社は、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、再生可能エネルギーの主力電源化に向けて、地域のご理解を得ながら、着実に歩みを進めてまいります。

### 【調査場所】



#### 〔お問い合わせ先〕

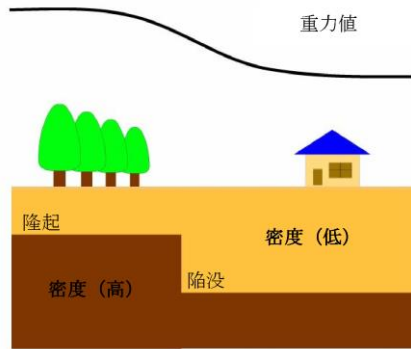
九電みらいエナジー（株）経営企画部門 経営企画部（広報）真崎 TEL:092-981-0970  
株式会社レノバ 広報室 東山 [press@renovainc.com](mailto:press@renovainc.com)

【地表調査の概要】

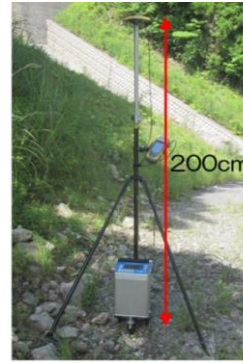
地表調査では重力探査と電磁探査を実施します。どちらも自然界にあるものを測定するだけであり、電気や騒音、振動などを発することはありません。

○重力探査

重力計を用いて、地下の密度分布を反映する重力値を測定、解析することで、地下深部の隆起・陥没の状況などを推定します。測定後装置は撤去します。



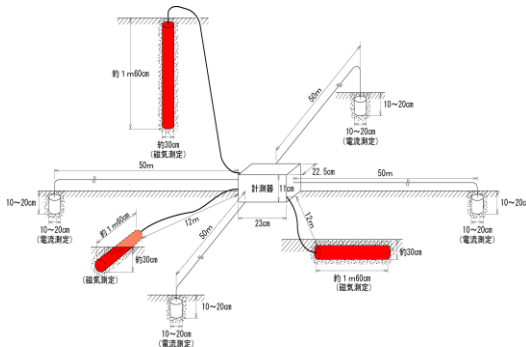
重力探査イメージ図



重力計

○電磁探査

自然界に存在する磁気、電流を地中に埋めたセンサーで測定、解析し、電気の流れやすさから、地下の割れ目の方向性や熱水で変質した岩石の分布などを推定します。測定後装置は撤去し埋めたところの原状を復帰します。



電磁探査イメージ図



磁場センサー

【温泉等モニタリングの概要】

周辺温泉等の温度、流量の測定及び温泉成分の分析を定期的に行うことで温泉等の現状と季節変動などの経年変化を調査します。

【調査スケジュール（予定）】

項目	2024年										2025年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
地表調査	← 現地調査、データ整理・評価（2024年度末で完了） →												
温泉等モニタリング	← 定期的な温泉等のモニタリング（2025年度以降も継続実施） →												

※現地の状況、調査進捗等により変更となる場合があります。